

本ビジョンについて

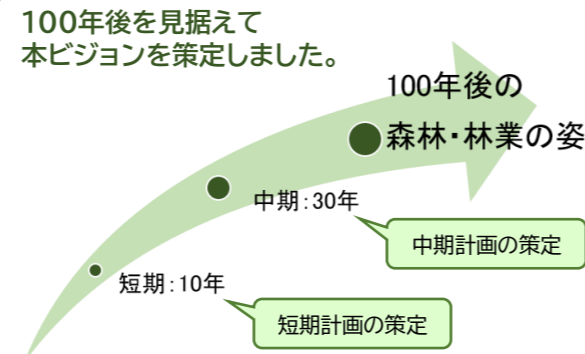
● ビジョンの位置づけ

本ビジョンは上位計画である「第2次多可町総合計画」や関連のある「バイオマスタウン構想」、「多可町地域防災計画」等との整合を図り、森林・林業の取り巻く現状を踏まえながら、平成27年度に策定した「多可町森林・林業再生ビジョン2015」を見直し、新たな「多可町森林・林業ビジョン2020」として策定することとします。

● 計画期間

森林・林業は、長い年月をかけて形成され、「百年の計」を持って取り組んでいく必要があることから、本町の100年後の望ましい森林・林業の姿を示し、この先10年を短期、30年を中期とし、それぞれ取り組んでいく方針を定めていきます。

なお、本ビジョンは、社会・経済情勢の変化等に柔軟に対応するよう概ね5年ごとに見直すこととします。



推進体制

本ビジョン推進のため、本町の森林に関する幅広い関係者が協議し、試行・検証を行うプラットフォームと庁内関連部署および団体による推進委員会を組織し、本ビジョンの推進を行う。

● プラットホーム

<目的>

- ・ 官民連携により、本ビジョンを推進する。
- ・ 多様な視点から、試行・検証を繰り返し、主体を巻き込みながら、施策を推進する。
- ・ 最終的には、多可木材コーディネーター等地域のリーダー役も担っていただく人材を育む。
- ・ あわせて、関係者間のネットワークを構築し、民民同士や多様なコトを創出していく場とする。

<メンバー>

- 森林所有者
- 森林整備事業者
- 木材利用者(建築事業者、企業など)
- 町内木材加工・流通事業者
- 多可町(下記検討委員会参画部署)
- 兵庫県・ひょうご森づくりサポートセンターなど(オブザーバー) など



● 多可町森林・林業ビジョン推進委員会

庁内の森林・林業に関する部署および関連の深い団体により構成され、ビジョンに基づく取り組みの進捗管理および他庁内施策との連携を図る。適時、進捗にあわせて、見直しを行う。

多可町役場 産業振興課

〒679-1192 兵庫県多可郡多可町中区中村町 123 番地

TEL 0795-32-2380(代)(内 226) 0795-32-2388(直) FAX 0795-32-4778

多可町森林・林業ビジョン 2020

現在の森林・林業を取り巻く情勢は非常に厳しいものとなっています。このような中でも、今後、先人が育て守ってきた本町の森林の様々な恵みを次世代に引継ぎ、活用していくためには、理想とする森林・林業の将来像や林業が目指すべき姿を示し、総合的・計画的に施策を展開していく必要があります。また、令和元年度から森林環境譲与税の譲与が開始されるとともに、森林経営管理法が施行され、今まで以上に本町が主体的に森林・林業に取り組んでいく必要があります。

このため、本町の森林・林業を活用した中長期の方針を策定し、森林の健全化とあわせて雇用の拡大や地域の活性化を図り、活気ある本町を創っていくことをねらいとしています。

森林および森林との関わり将来像 地域主役による森林・地域経済の循環



基本方針

将来像実現のため、3つの基本方針のもと取り組みを進めていきます。また、本ビジョンにおいてもSDGsを意識しながら取り組みを進めていくものとします。

1. 次世代の後継者をはじめとした山主と森林との関係性を育み、継承する。
2. 森林の有する多面的な機能を発揮できるよう、特性にあった多様な森林づくりを進める。

- 持続可能な林業経営に向けて、試行・検証を進める。
- 林業経営に適さない人工林は天然林化(針広混交林・広葉樹林等)を進める。
- 天然林は植生の自然遷移を基本に公益的機能の保全・活用に努める。
- 人工林、天然林両者において、森林の多面的機能を発揮する森林づくりを目指すとともに、気候変動影響や社会、技術変化を考慮し、多様性を確保する。

整備目標

現在		100年後	
人工林	9,000ha	人工林(資源循環林)	4,500ha
天然林他	5,800ha	人工林から天然林へ	4,500ha
		天然林他	5,800ha

3. 森林・林業・木材活用の地域経済循環を生み出す多様な関係性を育む
(加古川流域・京阪神地域の川下側も含めた、多様なステークホルダーとの関係性を深め、担い手を確保する。)

森林および森林との関わりの将来像

地域主役による森林・地域経済の循環

- 地域主役による
森林は所有者の財産でもあり、公益的なサービスを提供してくれる地域のタカラでもあります。一方、「森林や木材」への関心は、持続可能性の観点から、地域外からも着目されているところ。そこで、地域・町民の財産である森林を対象とすることから、地域を中心とした森林・林業に関する取り組みを目指すことをこの言葉に込めました。

- 森林・地域経済の循環
製材所という担い手の存在や新築住宅・古民家改修ニーズは、森林・林業を活性化し、また、地域全体の経済を活性化する可能性があると言えます。そして、そのポテンシャルがある地域は、全国を見てもそう多くはありません。そこで、目指す姿として、林業の活性化、森林資源の循環を形成していくことが、地域経済を活性化させるという視点を持って、森林と地域経済の循環形成を目指すことをこの言葉に込めました。



図 森林・林業・木材活用の地域経済循環が生み出す関係性のイメージ

将来像実現に向けた10年間の各種取り組み(新規施策)／ステークホルダーと毎年協議し、優先度の高いものから実施してきます。★:重点的に取り組むもの

次世代の後継者をはじめとした山主と森林との関係性を育み、継承する。 **森林の有する多面的な機能を発揮できるよう、特性にあった多様な森林づくりを進める。** **森林・林業・木材活用の地域経済循環を生み出す多様な関係性を育む**

①山主の育成

- ・所有者への普及啓発・勉強会 ★
- ・集落での山のピクニック開催支援 ★
- ・学校教育における森林教育の実践
- ・公的管理の仕組みの検討

②新たな森の活用方策の支援

- ・森林空間利用・活用推進事業

③次世代担い手育成

- ・担い手支援・確保育成対策事業
- ・担い手労働安全推進支援事業

図 新たな森の活用方策の例
出典:令和元年度 林野庁委託事業「森林資源を活用した新たな山村活性化に向けた調査検討事業」報告書(2020年3月(公社)国土緑化推進機構)

①人工林(資源循環林)

- ・森林クラウド化の推進
- ・森林整備・搬出環境改善事業(集落の道含む／大径木伐採経費補助等)★
- ・集落周辺森林機能強化対策(人家裏等危険木伐採事業)★

②人工林(天然林への誘導)

- ・条件不利地間伐推進事業 ★
- ・搬出環境改善事業(ヘリ運搬／大径木伐採経費補助等)
- ・更新経費、防護柵補助

③天然林

- ・集落周辺森林機能強化対策(人家裏等危険木伐採事業)★
- ・県等の各種事業活用に向けた普及啓発・サポート ★
- ・里山林維持管理の推進

写真 森林づくりのイメージ
上から順に、針葉樹林と広葉樹林の混交整備例、里山防災林整備例(出典:兵庫県)

①公共施設の木造・木質化

- ・活用を促すための庁内検討の場およびプロセスの創出
- ・都市部との連携 ★

②木材産業育成

- ・町産木材へのアクセス改善事業
- ・ターゲットを定めた商品開発・供給支援(住宅、リノベーション等)
- ・製材所等の要となる事業者を地域で支える方策の検討
- ・多可町森林・林業・木材活用に関するプラットフォーム形成 ★

③森林資源活用事業

- ・地域特性を生かした木材製品化・商品開発・販路開拓支援
- ・建材以外の特産品開発の支援
- ・森林空間利用・活用推進事業(再掲)

④加古川流域・京阪神地域とつながる事業

- ・多可町の森林とつながり促進事業 ★
- ・国、県等の担い手育成連携事業